

◎本年度全国大会〈静岡大会〉前日の全日音研全国理事会に於きまして、ご審議いただき下記の全国大会開催地決定方法が了承・決定されました。

平成32年度よりこの方法に基づいて、全日音研全国大会の開催地が決定します。全国会員のみなさまには、安定的・計画的な全国大会開催に向けてご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。 全日本音楽教育研究会 会長 福井 直敬

平成32年度以降の全国大会開催地決定方法

27.10.28 決定

〔輪番制による開催地決定について〕

- (1) 北海道・東北・関東(※28年度から長野県が加わる)・東海北陸・近畿・中国四国・九州、の7地方区に東京都を加えた、全8地方区から輪番で全国大会開催県(市・地域等)を選定する。
- (2) 開催県(市・地域等)は当該地方区での研究大会開催順等を勘案して、各地方区音研理事会等で協議し決定する。尚、東京都では全日音研の発足周年年度に総合大会として開催する。
- (3) 輪番で開催される全国大会(地区研究大会)の参加校種は、地区(ブロック)のこれまでの経緯により、〈小中学校部会大会〉または〈小中高部会大会〉とするが、高等学校部会・大学部会が同時開催可能な場合は〈総合大会〉として開催する。
- (4) 地方区輪番制は平成32年度全国大会からとする。また、その開催順は平成32年度段階で、前の全国大会開催から年数の長い地方区順とする。

年 度	地方区輪番	前回開催地	前回開催年度からの期間
平成32年度(2020)	関東地区	2002年千葉県千葉大会	17年
平成33年度(2021)	東北地区	2004年岩手県盛岡大会	15年
平成34年度(2022)	中国・四国地区	2006年広島県広島大会	13年
平成35年度(2023)	東海・北陸地区	2015年静岡県静岡大会	4年
平成36年度(2024)	北海道地区	2016年北海道釧路・釧路大会	3年
平成37年度(2025)	九州地区	2017年沖縄県沖縄大会	2年
平成38年度(2026)	近畿地区	2018年和歌山県和歌山大会	1年
平成39年度(2027)	関東地区 【予定】		
平成40年度(2028)	東北地区 【予定】		
平成41年度(2029)	東京都 ※全日音研発足60年記念大会総合大会		
平成42年度(2030)	中国・四国地区【予定】		
平成43年度(2031)	東海・北陸地区【予定】	※ 隔年の地方区大会開催年度	
平成44年度(2032)	北海道地区 【予定】		
平成45年度(2033)	九州地区 【予定】		
平成46年度(2034)	近畿地区 【予定】		

※ 平成39年度(2027)からの輪番は予定

〔輪番制の運営管理方法について〕

- (1) 上記、平成32年度から38年度の地方区輪番の順は、平成39年度以降も原則変更はしないこととし、平成41年度東京大会を挟んで同じ順番で開催する。
ただし、東海北陸地区は隔年開催のため開催が無い場合は順番入れ替えの調整が必要。
- (2) 全日音研の1期(2年間)の前期年度(西暦敬年度)の全国大会開催時には部会大会としての開催であっても、全日音研全国理事会(※)を開催し、以後の各年度全国大会開催地方区の輪番について確認を行うとともに、開催県(市・地域)についても確認・決定する。

【確認・決定事項】

- ① 自然災害等で全国大会開催が難しい場合などは、全国理事会で輪番地方区順番変更等の対応を行う。
- ② 地方区内の地区大会開催予定の県が、事情により該当年度の全国大会開催が困難な場合は、全日音研本部とも連絡をとりながら、地区理事会等で開催県を検討・変更した上で全国理事会で報告する。
- ③ ※隔年の全国理事会には、各県の全日音研全国理事に加えて高等学校・大学部会の部会長と役員等の参加も依頼して〈総合大会〉としての開催についても検討協議する。

趣旨

小中高大(特支)の全校種による「総合音楽教育研究団体」としての全日音研組織を維持することは、学校音楽教育の校種間連携を維持し深める上でも重要である。そのためには〈総合大会〉を継続的、計画的に開催することが必要である。輪番制による全国大会開催のもとでは総合大会の開催が難しい県・市や地方が開催地になることも予想されるが、小中学校部会と高校・大学部会の連携や、開催県と全日音研本部との綿密な連携で、隔年ないし3年に1回程度の〈総合大会〉開催を実現したい。

【全国大会の開催規模について】

(1) 全国大会の開催日程は1日半開催を基本とするが、開催地(県・地域)の事情により1日日程での開催も可能とする。

- ・全国大会としての基本的な開催内容は下記の通り。
 - ① 授業実践の公開、音楽教育に関する研究発表及び関連する研究協議会
 - ② 開催県・市の教育委員会、文部科学省等からの来賓を招いての開会行事
 - ③ 文部科学省教科調査官2名による全体講評
 - ④ 児童生徒による研究演奏
 - ⑤ 大会の参加校種別の「部会総会」(通常45分程度)
 - ⑥ 参加者の懇親を目的とした懇親会(レセプション) 等があげられる。
- ・この開催日程については、開催地実行委員会と全日音研本部との連絡を密にしなが、全国大会として必要な開催内容と開催地の諸事情を判断し、柔軟かつ効率的な実施ができる日程計画を決定する。
- ・隔年で開催される「全国理事会」でも随時報告し十分な理解を得ながら計画を進める。

(2) 全国大会での小・中学校部会の公開授業は、学習指導要領の指導内容、A表現の歌唱、器楽、音楽づくり・創作及び、B鑑賞の2領域4分野の授業公開を基本とする。高等学校部会が同時開催の場合は複数分野の公開授業を行う。

【趣旨】

- ① 全日音研全国大会の開催趣旨が、学習指導要領に準拠した授業実践の質的向上により全国及び開催地区の音楽科教育や授業の向上を目標としていること。
- ② 全国大会の開催により、全国で適正かつ有効に実践されている音楽科授業実践を広く発信すること。
- ③ 全国大会を地方区輪番制で意図的、計画的に開催することにより、開催地区に於ける、数年先を見通した計画的な実践的授業研究の深まりが期待できることや地域での意図的な音楽科人材育成にあること。